

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-305164

(P2005-305164A)

(43) 公開日 平成17年11月4日(2005.11.4)

(51) Int.Cl.⁷

A47B 77/10

F I

A47B 77/10

テーマコード (参考)

3B060

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 公開請求 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2005-121530 (P2005-121530)

(22) 出願日 平成17年3月23日 (2005.3.23)

(71) 出願人 503179447

大谷 利金

神奈川県相模原市下九沢 1 9 5 8 - 2

(72) 発明者 大谷 利金

神奈川県相模原市下九沢 1 9 5 8 - 2

Fターム(参考) 3B060 HA01

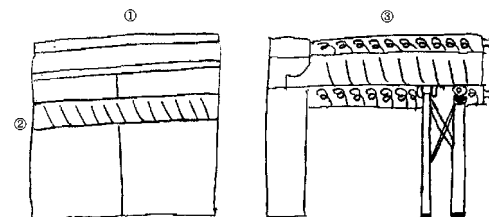
(54) 【発明の名称】 ワンルームキッチンテーブル

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】ワンルームマンションの狭いキッチンにおける調理作業等の作業性の悪さを解消する。

【解決手段】ワンルームマンションのキッチンキャビネットにあらかじめ3つに折り畳まれた引き出し式のテーブルを収納しておき、使用時にそのテーブルを引き出し・展開することにより、安全で快適な調理作業をすることができ、また小物の収納も可能となる。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワンルームの台所にあらかじめ引き出し式の 3 つのテーブルが収納されていて、テーブルの上にまな板をおけて安全に料理ができる事と、いろいろな小物も収納できる折り畳み式ワンルーム専用調理台を提供する。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

狭いワンルームマンションのキッチンはまな板すら置く場所がなく、とても料理できるキッチンではない。それを解消する為の台所テーブルの技術分野 (A 4 7 B 3 3 / 0 0) 10、 (A 4 7 B 1 7 / 0 3) である。

【背景技術】

【0002】

ワンルームの台所 (キッチン) は狭すぎて、まな板をおける場所もなく、調理 (料理) が出来ない。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

狭いキッチンでの調理 (料理) が課題の一つである。狭い場所のキッチンなら狭い場所 20 なのキッチンを確認し、まな板をきちんと置いて調理が出来る事が次課題である。

【課題を解決するための手段】

【0004】

コンパクトに置めて収納式のキッチンテーブルを提供し、足のフレームは格安のスチールパイプとする事。

【説明の効果】

【0005】

- ・狭い空間をより有効に使用できる効果
- ・足のフレームは低料金のスチールパイプを使用する効果
- ・いろいろな小物が収納できる効果

【発明を実施するための最良の形態】 30

【0006】

小さいものから大きいものに変わることができる事と、場所をとらない事、低料金で仕上がる こと。

1 つのテーブルを引き出すと、左・右に折り畳みであるテーブルも開けて 3 つのテーブルになる事、左・右のテーブルには小物も収納できるものとする。

【産業上の利用可能性】

【0007】

狭いキッチンを有効に使用でき、低料金で上がるので消費者側に受け入れられるのは十分可能性があると考えます。

【図面の簡単な説明】 40

【0008】

【図 1】ワンルームキッチンの正面図である。

【図 2】ワンルームキッチン収納テーブルの平面図と断面図である。

【符号の説明】

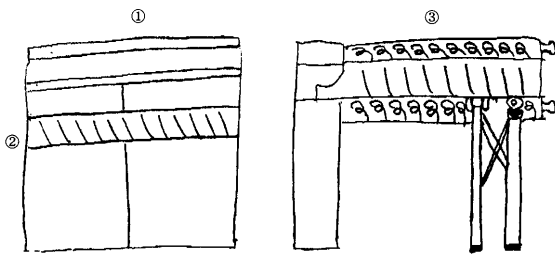
【0009】

- 1 ワンルームキッチンの全体図
 - 2 ワンルームキッチンの収納テーブルの部分図であり、50cmとする。左・右の折り畳みテーブルは16.6cmとする。
 - 3 ワンルームキッチンの収納テーブルを引き出した図であり、テーブルの足のフレームはスチールパイプとする。
- 50

4 2 の収納テーブルを引き出すとテーブルが3つに分かれ、それを上から見た平面図である。

5 収納テーブルの断面図である。

【図1】



【図2】

